

## 「岐阜地域貢献活動センター」基金助成団体一覧表

平成12年度（7件の応募があり以下の3件に決定）

活動団体の名称	単年・継続	活動地域	活動のテーマ	今回申請する活動の目的	助成額
1. 陶都町並探偵団	継続	多治見市	陶都の町並を調査・探求し、郷土を見直すとともに将来のまちづくりの一助となること	陶都（多治見）の街を散策し記録することにより、地域住民とともに同じ目線で保存再生すべき遺産、今後あるべき街の環境を探求する。	20万円
2. 大垣まちづくり応援団	単年	大垣市船町	商家・蔵の再生と活用の調査	大垣型町屋やその商家・蔵の優れた建築技術の詳細調査	30万円
3. 金華まちづくり研究会	継続	岐阜市金華校下	金華地区における魅力あるまちづくりの研究及び地域の良好な生活環境・文化の創出	金華地区の住民にまちづくりの必要性・方向性を啓発する。	20万円
合計					70万円

平成13年度（7件の応募があり以下の5件に決定）

1. 陶都町並探偵団	継続	多治見市	陶都の町並を調査・探求し、郷土を見直すとともに将来のまちづくりの一助となること	いままでの月例ウォークの成果「ウォークマップ」の作成	20万円
2. 金華まちづくり研究会	継続	岐阜市金華校下	金華地区における魅力あるまちづくりの研究及び地域の良好な生活環境・文化の創出	「川原町まちづくり会」「伊奈波界限まちづくり会」の継続的なサポート 川原町オブジェフェスティバルの実施・広報誌の発行	20万円
3. 大垣まちづくり応援団	継続	大垣市船町	商家・蔵の再生と活用並びに地域の景観形成	地域住民への啓発活動及び行政への働き掛け	20万円
4. 美濃竹鼻まちづくり委員会	単年	羽島市竹鼻町	自然の要素を重視したまちづくり活動	いままで調査・研究してきたノウハウの情報公開	20万円
5. 飛騨地域研究会	継続	飛騨高山	地域のまちづくり・福祉環境の整備	空き店舗を利用した、地域のコミュニケーションの活性化	20万円
合計					100万円

平成14年度（9件の応募があり以下の3件に決定）

1. 金華まちづくり研究会	継続	岐阜市金華校下	金華地区における魅力あるまちづくりの研究及び地域の良好な生活環境・文化の創出	「川原町まちづくり会」「伊奈波界限まちづくり会」の継続的なサポート及び金華地区全域への啓発活動。	20万円
2. 大垣まちづくり応援団	継続	大垣市船町	商家・蔵の再生と活用並びに地域の景観形成	地域住民を巻き込みながら、ワークショップを行い、シンボまでこぎつきたい。合意形成ができれば、地区計画へと展開を図る	20万円
3. パワーアップ21	継続	不破郡垂井町	中仙道垂井宿、宿場景観の保存活用資料の作成及び生活空間利用の調査研究	約150家屋の通りから見た景観の写真とスケッチ 宿場全体平面図と地区にない裏道の調査。生活道路の利用状況をアンケート調査しマップの作成。	20万円
合計					60万円

平成15年度（2件の応募があり以下の2件に決定）

活動団体の名称	単年・継続	活動地域	活動のテーマ	今回申請する活動の目的	助成額
1. 大垣まちづくり応援団	継続	大垣市船町	商家・蔵の再生と活用並びに地域の景観形成	1. わが街のまちづくりプラン：ワークショップの開催 2. 古道標調査(1ツ目橋から5ツ目橋) 3. 事例視察	20万円
2. パワーアップ21	継続	不破郡垂井町	中山道垂井宿、宿場景観の保存活用資料の作成及び生活空間利用の調査研究	中山道垂井宿約150家屋、及び南北に交差する通りから見た現況景観の写真・平面図と樽井宿の活用提言を報告書にまとめる。	20万円
合計					40万円

平成16年度（4件の応募があり以下の1件に決定）

1. 特定非営利活動法人 神岡・町づくりネットワーク	単年度	飛騨市 神岡町	溪谷美とぬくもりのまちづくり	産業構造の転換期にある中、神岡町本来の「よさ」「らしさ」を十分に再認識し、単に「ともかく施設を作れば」という近視眼的な考えではなく、長期的な視点に立って、本当に町民が幸せで豊かな暮らしが出来るよう地域固有の資源を生かしたまちづくりを行うことが不可欠と考え、地域活性化対策構想に基づき市街地活性化を図るべく住民自らが考え、自らが汗をかく事業（散策道「がおろの道」）を完成させること。	30万円
合計					30万円

平成17年度（8件の応募があり以下の2件に決定）

1. 水琴亭を愛する会	単年度	岐阜市 伊奈波地区	水琴亭を保存・活用し、伊奈波地区まちづくりのシンボルとする	水琴亭は昭和初期に建設されたもので、原三溪と深くかかわりがあり、岐阜市の歴史・文化遺産として、また観光資源としての価値を岐阜市民に認知してもらうこと。	40万円
2. 郷山住環境研究会	継続	山県市 北山地区	高齢者等が安心して住め、多くのひとが集える郷山づくり	山県市北山地区の住環境（建物と敷地・道路の関係及び郷山の修景）を調査しより良い住まい方を地域全体で考え提案し、また耐震診断の促進も図る。	20万円
合計					60万円

平成18年度（2件の応募があり以下の1件に決定）

活動団体の名称	単年・継続	活動地域	活動のテーマ	今回申請する活動の目的	助成額
1. 郷山住環境研究会 代表者 横井 守	継続	山県市 北山地区	高齢者等が安心して住め、多くのひとが集える郷山づくり	地域住民の方との交流を深め、意見交換の場をつくり、活動を理解してもらおう。 前年度の現地調査及び分析結果をふまえ、より住みやすい住環境の提案活動をする。	20 万円
合計					20 万円

平成19年度（3件の応募があり以下の3件に決定）

1. 森の子学校 代表者 若山 宏	継続	不破郡 関ヶ原町 今須	森林環境教育(ものづくり講座) 地域活性化	次世代の子供たちに森林環境教育をしながら、福祉施設との融合を図り、地場産業である“今須杉・桧”による地域活性化を目指し、2年間実施してきたが、今後さらなる事業拡大を図るべく子供たちが建築に対し興味を抱き、地産地消の循環型社会を身につけていくために、新たな活動を展開することを目的としている。	15 万円
2. 特定非営利活動法人 歴史文化建造物等保存会・トラスト岐阜 理事長 加藤 達雄	継続	岐阜市 金華地区	歴史的建造物の保存・活用に関する普及と啓発及び企画提案と実験	岐阜市伊奈波界限を中心とする金華地区における歴史的建造物等の保存と活用に関する地域住民への広報、普及及び啓発と、保存活用に関する企画提案と実験をすることにより、歴史的まちなみの保存と地域住民の生活維持に貢献し、まちづくりを推進することを目的とする。	20 万円
3. 特定非営利活動法人 自然、生活共生会 理事長 井上 好郎	継続	中濃地区	針広混交林造成と里山体験用遊歩道の敷設で地域振興を図る	1. 学校の総合学習支援の一環として、又一般の人々を対象に山の大切さ、楽しさを体感できる場所づくりを行う 2. 針葉樹林、広葉樹林あわせて、5ヘクタールの提供を受け、理想的山作りをめざす。全山を広葉樹林帯、針広混交林帯、針葉樹林帯に分類して作り上げていく。 3. 山林遊歩道の敷設 4. 上記内容を組み合わせ、体験学習、各種イベント、林間学校等に発展させ地域振興を図る。	20 万円
合計					55 万円

平成20年度（7件の応募があり以下の5件に決定）

活動団体の名称	単年・継続	活動地域	活動のテーマ	今回申請する活動の目的	助成額
1. 建築士会中津川支部 中山道中津川宿古建築 調査研究会 代表 糸魚川 亨	継続	中山道 中津川宿	中山道中津川宿古建築調査研究	江戸より明治の中津川宿は、美濃いちばん栄えた街でありましたが、現在も市の中心市街で近代建築が建ち並び昔の姿はほとんど見ることができません。市指定文化財、市有建物及び寺院を除き、現在残る数少ない古建築は何時消え去るか心配でなりません。今この残る建物を調査し、記録に残し次世代に伝えたい。また市は昨年「景観条例」を制定、中山道沿道景観区域内に景観計画重点区域を本町中山道地区（中津川より四ツ目川）指定されています。この古建築調査結果は関係機関に公開し、景観条例の促進に寄与されることを願い活動の目的とする。	50万円
2. ぎふ町家情報バンク 代表 山崎 仁朗	継続	岐阜市 金華地区	「町家」居住者の生活実態に関する聞き取り調査	約 400 軒と推定される金華地区の「町家」に住む人たちが日々どのように暮らしを営んでいるか、そうしたなかで「町家」に住むことによどのような考えをもち、課題を抱えているかを網羅的に聴き取り調査することで、「町家」の需要者と供給者のマッチング・システムを構築するための基礎データを収集し、同システムの運用による「町家」の維持・再生を図ることを目的とする。	40万円
3. 森の子学校 代表者 若山 宏	継続	不破郡 関ヶ原町 今須	森林環境教育(ものづくり講座) 地域活性化	次世代の子供たちに森林環境教育をしながら、福祉施設との融合を図り、地場産業である“今須杉・桧”による地域活性化を目指し、2年間実施してきたが、今後さらなる事業拡大を図るべく子供たちが建築に対し興味を抱き、地産地消の循環型社会を身につけていくために、新たな活動を展開することを目的としている。	15万円
4. 特定非営利活動法人 歴史文化建造物等保存 会・トラスト岐阜 理事長 加藤 達雄	継続	岐阜市 金華地区	歴史的建造物等の保存・活用に関する普及と啓発及び活用実践	岐阜市金華地区における歴史的建造物等の保存と活用に関する地域住民への広報、普及及び啓発と、保存・活用に関する企画提案と実践をすることにより、歴史的まちなみの保存と地域住民の生活維持に貢献し、まちづくりを推進することを目的とする。	40万円

活動団体の名称	単年・継続	活動地域	活動のテーマ	今回申請する活動の目的	助成額
5. 特定非営利活動法人 自然、生活共生会 理事長 井上 好郎	継続	中濃地区	山林の自然保護活動と自然環境教育を行いながら地域振興を図る	<p>1. 学校の総合学習支援として、紙芝居や体験学習を行い自然環境の保護育成の実践、啓蒙を広く行う。</p> <p>2. 針葉樹林、広葉樹林合わせて、5ヘクタールの提供を受け、理想的な山作りをめざす。全山を広葉樹林帯、針広混交林帯、針葉樹林帯に分類して作り上げていき、自然環境に配慮した山林としたモデル林とする。</p> <p>3. 地域振興として観光資源の更なる開発を目指す</p> <p>(ア) 山林遊歩道の周辺整備 (アジサイ、ミツマ、トウタンの植栽)</p> <p>(イ) 観光の中心地であるホタル公園周辺の整備</p> <p>(ウ) 地域住民、帰省客、都会の人達が楽しめる民家の改造</p> <p>上記の内容を、体験学習会、イベント主催及び参加、広報活動等に発展させ地域振興を図る。</p>	20万円
合計					165万円

平成21年度（6件の応募があり以下の5件に決定）

活動団体の名称	単年・継続	活動地域	活動のテーマ	今回申請する活動の目的	助成額
1. 建築士会中津川支部 中山道中津川宿古建築 調査研究会 代表 糸魚川 亨	継続	中山道 中津川宿	中山道中津川宿古建築調査研究	江戸より明治の中津川宿は、美濃でいちばん栄えた旅籠宿でありましたが、現在も市の中心市街で近代建築が建ち並び昔の面影を見ることはできません。現在残る数少ない古建築は何時消え去るか心配です。又、保存したい重文の様な建物、遺構が見つければ関係機関と連携する、調査し記録に残し次世代に伝えたい。中津川市は平成19年より「景観条例」を制定、中山道沿道景観区域に良好な景観の形成の為の行為の制限、補助制度も制定されました。この「景観条例」の促進にも寄与することを願います。	50万円
2. ぎふ町家情報バンク 代表 山崎 仁朗	継続	岐阜市 金華地区	空き家実態調査と「地域の茶の間」づくり	昨年度の「『町家』住居者の生活実態に関する聴き取り調査」を通じて、「町家」の貸借以前に、高齢世帯の日常生活の立て直しが喫緊の課題であることが判明したので、まずは、急速に増えている空き家の実態を調査した上で、それを交流拠点（＝地域の茶の間）として活用することを通じて、地域コミュニティの再活性化を目指すことにした。	30万円
3. 森の子学校 代表者 若山 宏	継続	不破郡 関ヶ原町 今須	森林環境教育(ものづくり講座) 地域活性化	次世代の子供たちに森林環境教育をしながら、福祉施設との融合を図り、地場産業である“今須杉・桧”による地域活性化を目指し、2年間実施してきたが、今後さらなる事業拡大を図るべく子供たちが建築に対し興味を抱き、地産地消の循環型社会を身につけていくために、新たなる活動を展開することを目的としている。	15万円

活動団体の名称	単年・継続	活動地域	活動のテーマ	今回申請する活動の目的	助成額
4. 特定非営利活動法人 歴史文化建造物等 保存会・トラスト岐阜 理事長 加藤 達雄	継続	岐阜市 金華地区	歴史的建造物等の保存・活用に関する普及と啓発及び活用実践	岐阜市金華地区における歴史的建造物等の保存と活用、及び耐震改修と補強に関する地域住民への広報、普及及び啓発と、保存・活用に関する企画提案と実践をすることにより、歴史的まちなみの保存と地域住民の生活維持に貢献し、安心安全なまちづくりを推進することを目的とする。	40 万円
5. 特定非営利活動法人 自然、生活共生会 理事長 井上 好郎	継続	中濃地区	山林の自然保護活動と自然環境教育を行いながら地域振興を図る	<p>4. 学校の総合学習支援として、紙芝居や山での体験学習を行い自然環境の保護育成の実践、啓蒙を行う。</p> <p>5. 針葉樹林、広葉樹林合わせて、5ヘクタールの提供を受け、理想的な山作りをめざす。全山を広葉樹林帯、針広混交林帯、針葉樹林帯に分類して作り上げていき、自然環境に配慮した山林としたモデル林とする。</p> <p>6. 地域振興として観光資源の更なる開発を目指す  (ア) 山林遊歩道の周辺整備及び広報  (イ) 観光資源としてのホテル公園周辺の整備として、地域住民、帰省客、都会の人達が楽しめる民家の改造</p>	20 万円
合計					155 万円

平成22年度（6件の応募があり以下の2件に決定）

活動団体の名称	単年・継続	活動地域	事業名称	事業の目的・内容	助成額
1. 岐阜県建築士会 中津川支部 中山道落合宿古建築 調査研究会 代表 糸魚川 亨	単年	中山道 落合宿	中山道落合宿古建築調査研究	古建築を調査して記録に残る配置図、各階平面図、立面図、詳細断面図、調査票、写真、図面キャドで作図、成果報告書作成	50万円
2. 特定非営利活動法人 自然、生活共生会 理事長 井上 好郎	継続	中濃 地区	郷土遺跡（石積猪垣）の保存活動 と活動拠点作り	(目的)①郷土の歴史的遺産を保護し、後世に伝えてゆく。②総合学習支援事業 子供たちに遺跡を通じて、先人達の厳しい自然環境との戦いを伝える。③郷土遺跡を観光資源として整備し、多くの人達に先人を偲び、感謝し、楽しむ場所にする。④会の活動拠点の整備を行う。 (内容) ①石垣修繕作業 埋土の撤去、除伐、崩落石垣の修繕、見学コース小道の敷設、安全対策。 ②総合学習支援する事業 教材づくり、見学会、修繕作業の手伝い ③遺跡の観光資源化 調査・研究、広報、イベントの開催 ④廃屋改修による拠点作り 囲炉裏、内装、展示場、椅子、テーブル、配電関係を整備する。	20万円
合計					70万円



平成23年度（3件の応募があり以下の2件に決定）

活動団体の名称	単年・継続	活動地域	事業名称	事業の目的・内容	助成額
1. 特定非営利活動法人 歴史文化建造物等保存会・ トラスト岐阜 理事長 安藤 治	単年	岐阜市	信長公居館再生プロジェクト	金華山山麓の信長公居館跡の発掘は、ほぼ全容が明らかになってきた。しかし上部建物については未だポルトガル宣教師フロイスの記述したものしか残されていない。我々は岐阜で建築に携わる者の一員として、信長公居館の再生を試みしてみる。その結果が岐阜市の歴史文化向上に役立てればと考える。戦国時代初期の建築様式を知るために、同時期に造られた城及び居館を通じて信長関連の史跡、家来等の状況や残されているものを調査し、分類整理し、より確実性の高い再生を試みる。	20万円
2. 特定非営利活動法人 自然、生活共生会 理事長 井上 好郎	継続	中濃地区	郷土遺跡（石積猪垣）の保存活動と活動拠点作り	(目的)①シシ垣に対する調査、研究し冊子を編集する。②補修個所の修繕③観光化を図るためにシシ垣周辺に広葉樹（桜、もみじ）を植える。④広報活動に力を入れる。（冊子、イベント、出前講座、新聞チラシ、ネット）⑤活動拠点（ホタル小屋）の更なる整備。 (内容) ①過去の冊子を基に新たな資料を加え、冊子を完成させる。これのできる人材を会員に招く（写真、編集） ②修繕作業 10か所のシシ垣を取捨選択し、保存活動の対象をきめる。埋土の撤去、除伐、崩落石垣の修繕、見学コース小道の敷設、安全対策。 ③総合学習支援する事業 教材づくり、見学会、修繕作業の手伝い ④シシ垣遺跡の観光資源化 研究、広報、イベントの開催 ⑤活動基地 廃屋の改修を更に完成化する。 ⑥無名坊さんの墓の小屋作り	20万円
合計					40万円

平成24年度（3件の応募があり以下の3件に決定）

活動団体の名称	単年・継続	活動地域	事業名称	事業の目的・内容	助成額
1. 飛騨高山伝統構法木造建築物研究会 代表 田村 嘉伸	単年	高山	高山伝統構法木造建築物耐震性向上の為の調査研究	昭和25年以前の伝統構法木造建築物の耐震補強方法の確立は手付かずの状況です。その間にも取壊される建物は多数あります。このままでは高山らしさは消失し、又、伝統建築技術も衰亡してしまいます。私共高山で活動している建築士は、今声を上げ、大工・左官・木材関係の方々と協力し合い、高山の伝統構法建築物に適した補強方法の確立を急がなければなりません。現在、大阪・京都・金沢において耐震向上マニュアルが作成されており、最終的には、それらを参考に高山独自のマニュアルを作成したいと考えています。24年度はその準備段階として、講師を迎え伝建物の調査方法並びに構造特性の調査、限界耐力計算の習得を行いたいと考えています。	20万円
2. 特定非営利活動法人歴史文化建造物等保存会・ トラスト岐阜 理事長 安藤 治	単年	岐阜市	信長公居館奥御殿再生企画プロジェクト	平成23年度「信長公居館再生プロジェクト」においては計画どおり信長の足跡であった安土城等の現地調査と信長公に関する文献調査をすすめ、合わせてポルトガル宣教師フロイスの祖国に宛てた手紙の調査等を実施した。それにより岐阜市金華山麓に実在した信長公の居館は公的行事および来客をもてなす迎賓館の役割を行う表御殿（フロイスの表現する劇場風建物）と信長の居住する奥御殿（フロイスの表現する華麗なクレタの迷宮）との二つの代表する建物があつたと推察される。表御殿については平成24年2月25日、岐阜市歴史博物館において発表した。今年度は表御殿につづき奥後殿の調査を進め、再生案をまとめ発表を行う予定である。この企画により岐阜市が実施している「信長をテーマにした歴史まちづくり」に一助となればと考える。	20万円

活動団体の名称	単年・継続	活動地域	事業名称	事業の目的・内容	助成額
3. 特定非営利活動法人 自然、生活共生会 理事長 井上 好郎	継続	中濃 地区	郷土遺跡文化財の保護（石積の 猪垣保存）	<p>棚田を猪から守るためにシシ垣が作られ、現在文化的遺跡として高く評価されています。この遺跡の保存活動の問題点は後継者問題であります。地元をはじめ広く知らせ、認識の盛り上がりを企画し、多くの人の関心事になることが大事と考えます。今日まで2年間でほぼ目安がついたので、今後はソフト面に重点を移したい。そのために、登山道わきに小屋を建て、そこを休憩所、学習場所、キャンプ場として、楽しみながら認識を高められる場所と機会を作りたい。</p> <p>材料は周辺の間伐材を利用、講師は日本熊森協会の紙芝居と、NPO 法人の紙芝居、その他大人向け、子供向けの学習会を実施したい。小屋の建設は「文化財遺跡の保護」と「自然環境問題解決」の教室と位置付け、趣旨に賛同する多くの人のボランティアでゆっくり作ってゆく。この過程を大切にする。</p>	10 万円
合計					50 万円

平成25年度（3件の応募があり以下の2件に決定）

活動団体の名称	単年・継続	活動地域	事業名称	事業の目的・内容	助成額
1. (公社)岐阜県建築士会 西濃支部 支部長 木村裕伸	単年	大垣市	「せいのう歴史・景観建造物専門家」育成研修事業	(事業の目的) ① 市民協働の景観づくりを推進するために市民一人ひとりが先ずできることは、“知る、学ぶ”ことと位置づけ、保存・活用・維持・修繕して行く知識やノウハウを一人でも多くの市民が修得することにあると考えます。 ② この研修事業は、従来の生涯学習的勉強会ではなく、核となる人材を育成する上級研修であり、大垣市教育長及び(社)岐阜県建築士会会長が認証する研修事業を行うものです。 ③ この育成研修を通して、各地域ごとに地元の文化財に対する気運が高まり、地域リーダーが育ち、自立していくことが必要です。さらにこの研修によって人材を養成した後は、大垣市民による景観整備機構の設立を目指すことこそが最終目標となります。(社)岐阜県建築士会では、平成24年4月1日から景観整備機構が設立されていることから、本会と連携し、大垣市、学識者との協力関係を構築して行くことにあります。 (事業の内容) ④ 大垣市の歴史的文化建築物を始め、広く文化財を知り、学ぶことで大垣市における景観計画や都市計画の一役を担っていける人材を育成し、建築士・技能士・郷土史愛好家・観光ボランティアの方々、広く興味のある方々の新たな職域を広げると共に、新しい公共の担い手となるべく人材を研修により育成し、本企画の主旨を理解し知識を修得された方に“せいのう文化財専門家”の称号を	15万円

				<p>授与し、今後必要とされる保存活用・維持保全・管理に関して助言、指導、サポートできる人材を養成します。</p> <p>⑤ 認証者は、(社)岐阜県建築士会会長と考えています。全6回を全て受講することが前提であるため、不都合により欠席した場合は、DVDによる受講でレポート提出することで出席とみなしますが、レポートについては、講師の先生に評価して頂きます。(VDV受講は、一講座につき1,000円の自己負担を求めています。)</p> <p>⑥ 様々な歴史的文化建築物とその景観をフィールドワークし、座学とワークショップ方式による演習を重ねて保存活用・維持管理のノウハウを修得して行くもので、一定のレベル以上を望む上級研修の位置づけをします。</p> <p>⑦ 歴史的文化建築物における課題は、地域ごとにそれぞれ異なる問題点が存在しています。活用方法も地域によって様々であることは言うまでもなく、見聞を広める研修に留まるのではなく、その地域の方向性を見出し、手法等を修得して頂くものです。</p> <p>⑧ 有識者・郷土史専門家・学芸員・建築士・技能士であつたりと、毎回、地域のプロと称される方々を講師に招き課題提供しワークショップを重ねていきます。</p> <p>⑨ 座学での一方通行では受講者全員が一定レベルに達成しがたいと予測され、また偏った考え方にも成りがちであるため、ワークショップを通した意見交換により受講者の共有化を図っていきます。</p>	
--	--	--	--	--	--

活動団体の名称	単年・継続	活動地域	事業名称	事業の目的・内容	助成額
2. 特定非営利活動法人 歴史文化建造物等保存 会・トラスト岐阜 理事長 安藤 治	単年	岐阜市	信長公居館素案活用事業	岐阜市は「信長セミナー」を開催するなどより充実した活動を実施し、岐阜公園を歴史公園に変えて行く方向に向かっている。トラスト岐阜はセンターの助成を受け作成した「金華山麓信長公居館の再生素案」を活用して歴史公園の広報宣伝ツールとして利用できるように作成した素案の三次元イラストをデジタル化する。	20 万円
合計					35 万円

平成26年度（3件の応募があり以下の2件に決定）

活動団体の名称	単年・継続	活動地域	事業名称	事業の目的・内容	助成額
1. (公社)岐阜県建築士会 西濃支部 支部長 木村裕伸	単年	西濃地域	せいのお避難所体験講習 (木造住宅耐震相談士・応急危険 度判定士 参加による)	岐阜県と岐阜県建築士会は連携して、木造住宅耐震相談士「応急危険度判定士」及び被災地危険度判定士の登録を実施しているものの、実態としてはペーパーライセンスカードとなっており、登録されている方々（士会）が実務に携わることもなく有効期限が来る状況で何の活用もされていません。身近な地域で防災意識を高め、地域コミュニティの一員である建築士が地域に溶け込んで避難所体験や DIG 講習など有事に備えた体験研修を4会場で実施するものです。	10 万円
2. 特定非営利活動法人 市民協働支援機構 代表理事 坂 忠男	単年	上石津 時地区	上石津時地区 景観まちづくり計画 支援事業 (詳細調査)	築 100 年程の民泊施設の詳細調査 (2 年目は調査費がなし)  時地区景観まちづくり計画の 2 年目 (1 年目は金甚劇場調査活性化ファンド活用)	10 万円
合計					20 万円

平成27年度（1件の応募があり以下の1件に決定）

活動団体の名称	単年・継続	活動地域	事業名称	事業の目的・内容	助成額
1. 10 to 1000 PROJECT 代表 大橋 陵賢  (一社) 古民家再生協会岐阜 代表理事 大下竜一 から 助成団体変更	単年	美濃竹鼻 地区	美濃竹鼻地区 旧菱田邸と格子戸のまちなみ 保全・活用 支援事業 (詳細調査)	築100年程の伝統構法建築(町家)の詳細調査  存続していく為の問題点を提議し、地域の文化振興 事業の拠点となるよう必要な改修計画及び実施方法 の提案を行う。	10万円
合計					10万円

平成28年度（3件の応募があり以下の2件に決定）

活動団体の名称	単年・継続	活動地域	事業名称	事業の目的・内容	助成額
1. 公益社団法人 岐阜県建築士会 西濃支部 支部長 坂 忠男	単年	大垣市	大垣市 景観まちづくり	平成27年度大垣市より委託を受けた「大垣市建物 総合調査」に於いて、251件の案件が上げられた。茅 葺住宅、蔵、水屋建築、長屋門と多岐に亘っている。 このデータを基に地域性を紐解き、景観重点地域を 仮設定し、個々の建物の総合評価を行い、大垣市（教 育委員会及び都市計画課）に提言をまとめて報告す る。	20万円
2. 10 to 1000 PROJECT (てんとせんぷろじえくと) 代表 大橋 陵賢	単年	羽島市	食と文化と産業の観光マップ 作成とPR事業	羽島市の地域資源を発掘し、まちの魅力を市内外の 人々に発信する観光マップの作成	10万円
合計					30万円

平成29年度（3件の応募があり以下の3件に決定）

活動団体の名称	単年・継続	活動地域	事業名称	事業の目的・内容	助成額
1. 公益社団法人 岐阜県建築士会 西濃支部 支部長 坂 忠男	継続	大垣市	茅マイスター養成講座 2017	大垣市景観まちづくりを推進するために、茅葺の基礎知識や茅場の管理・茅刈り及び茅葺体験実習を実施しながら、茅マイスターの人材を育成する。	10万円
2. 岐阜まちづくり 活性化会 代表 田神 康弘	単年	岐阜市	岐阜空中水路構想	岐阜市内の活性化として点在する主要個所を結ぶ何処にも無い交通手段として『空中水路』を造り、その水路に清流長良川の水を引き込み観光船すなわち交通船として市内観光の案内船として広く国内および国外からの観光客を集め活性化を目指し「地域市民・行政・他団体への提案による周知する」	20万円
3. 高山市景観町並保存 連合会 会長 川上 幸夫	単年	高山市	町並みの景観保全と未来への伝承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観町並保存区域内における設置看板など景観整備に向けた研究・検討、建築物の新築及び改修などに対する指導、対応</li> <li>・同区域内における防災設備の普及啓発と、防災訓練の実施</li> <li>・同区域内における美観意識の向上</li> </ul>	10万円
合計					40万円



平成30年度（6件<内1件は申請取り下げ>の応募があり3件に決定）

活動団体の名称	単年・継続	活動地域	事業名称	事業の目的・内容	助成額
1. 公益社団法人 岐阜県建築士会 西濃支部 支部長 福野 嘉彦	継続	大垣市	茅マイスター養成講座 2018	大垣市景観まちづくりを推進するために、茅葺の基礎知識や茅場の管理・茅刈り及び茅葺体験実習を実施しながら、茅マイスターの人材を育成する。	10万円
2. 公益社団法人 岐阜県建築士会 まちづくり委員会 福田 勝好	単年	岐阜県	高齢者福祉対策部会	高齢者受入れ施設（シェアハウス）の実施設計を作成します。その後、建物の建設費及び維持管理費を策定します。 併せて空家を利用した福祉施設についても同様に策定します。」	30万円
3. 高山市景観町並保存 連合会 会長 川上 幸夫	単年	高山市	町並の景観保全と未来への伝承 子ども伝承部会「空町発見！第6 回御朱印巡り」（スタンプラリー）	平成25年より保存連合会の下部組織として、「子ども伝承部会」が発足した。児童生徒を対象に、街中の景観に限らず、歴史・文化・伝統・風俗を総合的に体験させ、景観や伝統文化に対する価値観を育成し、景観保全に対する土壌をつくる事を基本方針とする。その為の事業として年1回「御朱印巡り」を実施しているが、部会員の数が限られており、人手を要する引率が手薄となり好評で参加者を拡大しようとしても無理であった。そこで、建築士会飛騨支部が共催として参画し、企画段階から関わることとした。巡回施設の決定や、人海戦術の「御朱印帳」製作に参加する。行事当日は、士会会員の若手は参加チームの引率として一緒に施設を巡り、普段は入れない内部を見せて頂いたり説明を受けることで自身の見識を深める事ができ、またベテランは建物の解説を担当する為、その勉強をする事となる。飛騨支部としての参画は次年度以降も継続される。	10万円
合計					50万円

令和元年度（4件の応募があり3件に決定）

活動団体の名称	単年・継続	活動地域	事業名称	事業の目的・内容	助成額
1. 公益社団法人 岐阜県建築士会 西濃支部 支部長 福野 嘉彦	継続	大垣市	茅マイスター養成講座 2019	大垣市景観まちづくりを推進するために、茅葺の基礎知識や茅場の管理・茅刈り及び茅葺体験実習を実施しながら、茅マイスターの人材を育成する。	10万円
2. 公益社団法人 岐阜県建築士会 中津川支部 支部長 石川 英治	継続	中津川市	デザインコンテストによる未来の住まい・まちづくり学習～小学生へ20年後のまちづくりのための人づくり～	小学生による「デザインコンテストによる住まいづくり・まちづくり学習」を主催し、中津川の伝統と次代のニーズに合ったまちづくりの現実を推進することを目的とする。	20万円
3. 公益社団法人 岐阜県建築士会 飛騨支部 支部長 田村 嘉伸	継続	丹生川町	丹生川町の文化的景観の継承を考える	旧高山市を取囲む8つの旧町村では、独自の伝統文化が継承され、特色を持った建物が自然の中に溶け込み、やさしく豊かな里山景観が形成され現在に続いています。これらを継承していく仕組みを創ることが、今後の飛騨地域の発展にとって重要になってまいります。飛騨支部は今後少なくとも3年間、地元の人達と語り合いながら活動をしてまいります。30年度は、地元の人々に理解を得るため、まちづくり協議会や地元の活動団体と話し合いを進めてまいりました。丹生川中学校との出会いもその一つです。丹生川中学校校長先生は、地元の子供達が地元の事を知らない事に驚き、郷土教育として「にゅうかわ学」の導入を考えておられました。「ふるさと丹生川について、丹生川に生きる人・もの・ことから深く学ぶことを通して、ふるさと丹生川を愛する心と、未来の丹生川を支える地域社会人として生きる力を育む」というすばらしい目標を掲げておられます。私どもの活動を知り協力を求められました。「にゅうかわ学」は3年1サイクルになります。各学年で具体的な活動内容が決められています。丹生川のことを知ることから始まり、3年生になると、まちづくりに積極的に取り組む内容が計画されています。私達は地域貢献活動として「にゅうかわ学」への取組に対して3年間サポートさせていただくとともに一緒に勉強させていただきたいと思っております。	20万円

				<p>具体的な活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丹生川の伝統建築物を通じた歴史・文化・建築技術の勉強会</li> <li>・丹生川の魅力（お宝）マップづくりへの参加・協力</li> <li>・専門の講師によるまちづくり活動に対するガイダンスやアドバイス等の実施</li> <li>・丹生川町の記録映像（北方・法力地区の四季をドローンにより撮影）</li> </ul>	
合計					50万円

令和2年度（3件の応募があり3件に決定）

活動団体の名称	単年・継続	活動地域	事業名称	事業の目的・内容	助成額
1. 司町旧県庁舎保存活用協議会 会長 古川 秀昭	継続	岐阜市	「司町旧県庁舎保存活用」事業	保存活用に向けて広く地域住人に広報し協働して保存活用案を取りまとめ、岐阜県岐阜市に提案すること。	30万円
2. 公益社団法人岐阜県建築士会 中津川支部 支部長 高木 章	継続	中津川市	デザインコンテストによる未来の住まい・まちづくり学習 ～小学生へ 20年後のまちづくりのための人づくり～	小学生による「デザインコンテストによる住まいづくり・まちづくり学習」を主催し、中津川の伝統と次代のニーズに合ったまちづくりの実現を推進することを目的とする。	20万円
3. 公益社団法人岐阜県建築士会 飛騨支部 支部長 田村 嘉伸 ※コロナ禍の為事業ができず、3年度に持越し ※R3.9.8 事業停止届出受理 R3.9.27 助成金返金	継続	丹生川町	丹生川町の文化的景観の継承を考える	<p>景観の継承を推進していくには、地域の人々のまちづくりに対する意識の向上が必要です。その為には、「まちのビジョン」を明確にし、その実現に向けて取り組む気概が必要です。2年目は、1年目と同様「にゅうかわ学」への協力と併せて、丹生川中学・まちづくり協議会・行政を軸に、「丹生川町のビジョン」を纏めてまいりたいと思います。</p> <p>具体的な活動内容は「丹生川町のビジョン」を念頭に置きながら</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*丹生川の伝統建築物を通じた歴史・文化・建築技術の勉強会（建築分野を担当）</li> <li>*専門の講師による、まちづくり活動に対するガイダンスやア</li> </ul>	15万円

				ドバイス等の実施。 *丹生川の歴史・風土・風習・文化をプロットしたマップづくり *「未来の丹生川」と題した提案書のコンクール及び発表会の実施	
合計					65万円

令和3年度（コロナ禍のため新規募集は行わず、継続事業のみ申請受付を行う）

活動団体の名称	単年・継続	活動地域	事業名称	事業の目的・内容	助成額
1. 司町旧県庁舎保存活用協議会 会長 古川 秀昭	継続	岐阜市	「司町旧県庁舎保存活用」事業	保存活用に向けて広く地域住人に広報し協働して保存活用案を取りまとめ、岐阜県岐阜市に提案すること。	20万円
2. 公益社団法人岐阜県建築士会 中津川支部 支部長 高木 章	継続	中津川市	デザインコンテストによる未来の住まい・まちづくり学習 ～小学生へ20年後のまちづくりのための人づくり～	小学生による「デザインコンテストによる住まいづくり・まちづくり学習」を主催し、中津川の伝統と次代のニーズに合ったまちづくりの実現を推進することを目的とする。	10万円
合計					30万円

令和4年度（1件の応募があり不採択により、助成団体なし。）

令和5年度（1件の応募があり1件に決定）

活動団体の名称	単年・継続	活動地域	事業名称	事業の目的・内容	助成額
1. 司町旧県庁舎保存活用協議会 会長 古川 秀昭  R5.11.1 辞退届受理 R511.20 助成金返金	単年	岐阜市	「司町旧県庁舎保存活用」事業	保存活用に向けて広く市民に広報し、地域住民や学生とワークショップを行い意見交換を重ねながら協働して保存活用案を取りまとめ、行政にアピールしてきた。令和4年9月に「目覚めよ！眠れる森の宝物展」を銘打って、パネル展示とセミナー、パネル・ディスカッション、JAZZ ライブ等のイベントを開催した所、多くの見学者があり「ぜひ中に入って本物を観たい。残して欲しい」との声が多く聞かれた。老朽化と耐震等の問題から入館できないのであれば、100年後に繋ぐ事の出来る若い人達と共に、360度カメラ、3Dスキャン技術を使い、「デジタル・アーカイブとしてのバーチャル映像」を作成し本物感をリアルに体感して頂こうと思う。そして、その映像を広く市民に観て頂き、前回よりグレードアップしたイベントを開催し、新規の活動を模索しながら保存活用に向けた大きなウエーブに繋げたい。また、建築史としての学術的資料として、データ保存をする事も出来る。	30万円
合計					30万円